

デュオハヤシ フレンドリー コンサート



とっておき室内楽 XXIV

♪トークを交えて♪



林 俊昭 (vc)

林 由香子 (pf)

スペインのスパニッシュとフランスのスパニッシュ  

第1部

F. メンデルスゾーン: 無言歌 二長調 op.109

: チェロとピアノのためのソナタ 第1番 変ロ長調 op.45

第2部

E. グラナドス : Playera 祈り (スパニッシュ ダンスより)

M. デ ファリャ : Jota ホータ (スペイン民謡組曲より)

: 恐怖の踊り (恋は魔術師より)

M. ラヴェル : ハバネラ形式の小品

: 亡き王女のためのパヴァーヌ

F. プーランク : セレナーデ (陽気な歌より)

G. カサド : Requiebros 親愛なる言葉

2024年 11月10日 (日) 3:00 開演 2:30 開場

ヒルサイドプラザ・ホール [代官山]

全席自由 ¥4,100 [消費税込]

お申込み お問合せ : Tel&Fax 079-428-1699 (中村)

: e-mail duhays.ts@gmail.com

デュオ ハヤシ

林俊昭：チェロ 林由香子：ピアノ



林俊昭は、青木十良氏に師事し、1970年桐朋学園高校音楽科を卒業後、渡米。ボストン大学でナイクラッグ氏に学ぶ。

林由香子は、桐朋学園高校、同大学で井口基成、高柳朗子、岡林千枝子の各氏に師事する。2人は'73年からデュオとしての活動を始め、'77年に渡欧。プリース、ナヴァラ、フルニエ、ヤニグロ等、世界的巨匠である各氏に師事。'80年、ローマのサンタ・チェチリア音楽院室内楽科を満点で卒業後、イタリアを中心に60回余のコンサートなど活躍。2枚のCDがイタリアー流音楽誌より最高評としての5つ星を得る。その間、ミュンヘン国際、マリア・カナルス、トラッパニ国際、ヴィットリオ・ガイ国際室内楽など、数多くの国際コンクールで優勝、入賞する。'87年、林俊昭が大阪フィルハーモニー交響楽団首席チェリストとして就任のために帰国。その後は室内楽の普及を目指し、メインの活動である「デュオ ハヤシ リサイタル」の他に、イ・ムジチやベニス合奏団のコンサート・マスターらを招いた室内楽シリーズ「デュオ ハヤシ とイタリアの仲間たち」の全国公演を10回開催。大阪では室内楽「隠れた名曲シリーズ」も第10回、東京での「デュオ ハヤシ のとおき室内楽」は第24回を迎えた。帰国後これまでに6枚のCDをリリース、'22年発売の「アルペッジョーネ・ソナタ」は「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれる。

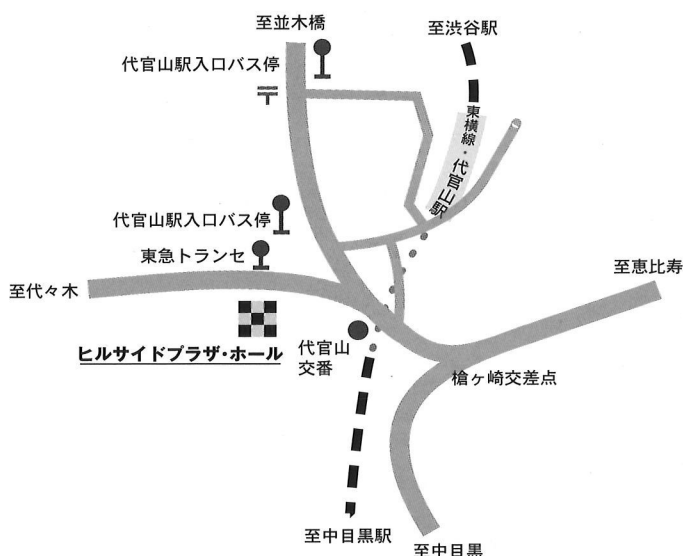
ヨーロッパ、アメリカへの演奏旅行も、15回以上行い、'11年にはイタリア・フェルモ市で、デュオ ハヤシの イタリアでの長年の活動を賞して「ジョルダニエロ賞」を授与される。

'03年からはイタリア・クーブラ国際夏期音楽祭で、チェロと室内楽のマスタークラス のレギュラー講師として招かれるなど、若い音楽家の育成にも力を注ぎ、日本では鳥取、出石、和歌山で「室内楽講習会」を20年にわたり主宰。現在も関西で、「室内楽セミナー」を毎年続けている。

林由香子は名古屋芸術大学講師を、林俊昭は東京藝術大学チェロ科と室内楽科講師、徳島文理大学教授、名古屋音楽大学特別講師、大阪フィルハーモニー交響楽団及び日本センチュリーオーケストラで特別契約首席チェロ奏者を務め、豊田ジュニアオーケストラを創設時より20年間指導する。現在は紀尾井ホール室内管弦楽団団友、サワカルテットのメンバー。'01年、'05年、'10年の「1000人のチェロコンサート」では、コンサート・マスターを務めた。（'05年の指揮者は、ロストロポーヴィチ氏）

'13年にチェロとピアノ、ヴァイオリンとピアノの二重奏のための「デュオ ハヤシ 国際コンクール」を

イタリアのサンタ・ヴィットリア・イン・マテナーノ市で創設し、'19年に第3回を開催。デュオ ハヤシは '23年に結成50周年を迎えた。



●ヒルサイドプラザ・ホール付近案内図

●TEL:03-3780-2029 (当日のみ)

●東急東横線代官山駅より徒歩 3 分

●東急バス 渋 71：渋谷駅～洗足駅
[代官山駅入口] バス停より徒歩 2 分

●東急トランセ：ヒルサイドテラス前 下車すぐ
(渋谷駅南口発)